



優秀賞 (総合部門)

リフォーム前後の写真

タイトル 昭和初期に建てられた建築家の自邸の再生

タイプ 持家一戸建

講習

昭和初期の建築家の手になる木造住宅を、新たな持主と設計者・工務店の協力によって再生した事例。詳細調査、耐震補強、断熱改修を施した。水回りの新旧混合は見事。今後、登録文化財への登録も考えているという。



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想 など

この住宅は旧国鉄の技師：曾田基蔵（旧大社線大社駅、JR高尾駅などの設計を担当）の自邸として昭和5年に建てられた。山小屋風な大屋根の外観ながらも、凜とした品のあるこの家に施主は一目惚れしてしまった。10年以上も空き家で、床が腐りかけていたにもかかわらず、この住宅を購入し、再生を決意した。本工事ではこの建物の魅力を引き出すべく再生させること、そして現在の生活に即した居住性能を付加し、ギャラリー併設住宅として機能させることを目的とした。

構造から内外装の仕上げ、造作家具や建具まで、建物の損傷状況を詳細に調査し、残すところと直すところを決め、設計に反映させた。北側を生活ゾーンとし、使い勝手を最優先に考え、動線と設備そして断熱性能を大幅に改善した。南側は間取りを変えずに、既存の意匠に即して居住性能の向上と仕上の更新を行った。この住宅を再生させるのだという施主の強い思いに触発され、工事に関わった人々がそれぞれの専門性を存分に発揮し、上質な和風住宅が蘇った。

特に配慮した住宅性能：耐震性能：令第46条4項、平12建告第1352号に準じる耐震性能の確保を目標とした。断熱性能：改修部分は新省エネルギー基準まで性能を向上させることを目標とした。備品の再利用：既存の建具や衛生機器、照明器具は可能な限り補修・清掃を行い再利用することにした。

データ

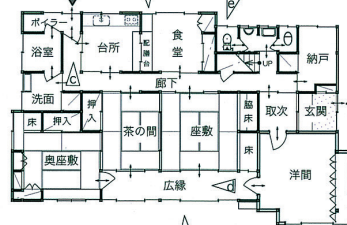
所在地	神奈川県鎌倉市	構造／築後年数	在来木	造／	78	年
該当工事面積	179 m ² ／総工事床面積	179 m ²	該当部分工事費	3,800 万円／総工事費	3,800 万円	
居住者構成	15歳以上65歳未満： 3 人／65歳以上： 人／15歳未満： 人／ペット：					
設計会社	TownFactory一級建築士事務所	担当者	酒井 哲			
施工会社	高棟建設工業	担当者	高橋 正成・大木 康弘			

リフォーム前

リフォーム後

既存2階平面図 1/250

2階は3帖間にトイレを設置。それ以外は間取りの変更をせず、内装の復旧工事を行った。



既存2階平面図 1/250

